

## ■ご近所力が命を守る!!

いざというとき

助け合うのは近所の力、  
自主防災会を地域の助け合いの要に

館山市内の156町内会のうち自主防災組織を設立しているのは146地区で組織率93.6%です。けれども、市の補助制度を活用して防災用品などを購入した自主防災会は過去5年間で延べ77団体、昨年は14団体のみです。自主的に防災訓練を行っている地域はわずかですが、行った地区では住民の意識も高くなっています。皆さんの地域でも自主防災会の活動を見直してみませんか。

## ■津波が来たら、 どこへ避難しますか。 そこは本当に 安全ですか?

ご家族やご近所で  
話し合いをしましょう

宮城県南三陸町の津波被害想定は6.7メートルでした。けれども東日本大震災の時、高さ12メートルの防災庁舎の屋上に避難した多くの人たちが津波にさらわれました。館山市の津波想定は、内湾で5メートル、外湾で10メートルです。けれども、それを超える津波が来ないという保証はありません。「連続的により高く逃げられる場所」と大槌町の津波伝承館の齊藤賢治館長は述べられました。高い建物と高台の少ない市街地で、どこへどう逃げるかを日ごろから考えておくことは大切です。

## ■停電対策を

## ■今のうちに始めよう!!

住宅用省エネルギー設備設置費  
補助金制度を利用することも

市内で、電線を切る恐れのある樹木はまだ多く残っています。市の社会安全課へ情報提供すれば、東京電力に伐採の依頼をしてくれます。東京電力パワーグリッドへ直接電話することもできます。

0120-995-007

03-6375-9803(有料)

また、ご自宅に太陽光発電、及び蓄電の設備を設置することも一つの停電対策です。館山市では、住宅用省エネルギー設備設置費補助金制度の予算を令和2年度予算では前年の2.8倍の総額780万円に増額しています。

## ■国土強靱化計画で 災害に強いまちづくり

より大きな風水害でも崩れないよう、  
道路、斜面、河川の補強を

昨年の台風の被害を受けた道路、河川の補修のための応急工事は、館山市建設協会の協力が進んでいます。けれども、現在の国からの補助で可能な復旧工事は、現状復帰です。今後より大きな災害に備えるためには、斜面の補強や河川の改修などより大規模な工事が必要と考えます。

館山市は令和2年度から国土強靱化計画の策定に入ります。災害に強いまちづくりを目指していきます。

おわりに



新型コロナウイルス感染が拡大してきて、不要不急な外出が自粛されたり、様々なイベントが延期、中止になっています。今後どのようなことが起こるのか不確かで、不安は拭いきれません。それでも、ブルーシートの屋根は徐々に減り、復興も進んでいます。

「雨のち晴れ」。雨があがれば必ず青空が輝きます。自分のためにも、そして周りの人のためにも、やれることをしっかりとやりたいと思います。